

経済学部を求める教員像および教員組織の編制方針

福岡大学が定める「求める教員像および教員組織の編制方針」を踏まえ、経済学部の求める教員像および教員組織の編制方針を次のとおり定める。

(求める教員像)

- 学部の「ディプロマ・ポリシー」、「カリキュラム・ポリシー」、「アドミッション・ポリシー」をよく理解し、学部の教育・研究の理念と目的を実現しようとする。
- 初年次から卒業までの基礎教育と専門教育を真摯に実践し、学生のキャリア形成に貢献する。
- 経済学やそれに関連する各分野において、最先端の知識と研究業績、または、豊富な実務経験を有し、その成果を研究・教育や社会に還元する。
- 学部の円滑な運営や学生の修学指導などに積極的に参加する意欲がある。

(教員組織の編制方針)

1. 教員組織

- 大学設置基準等の関連法令に基づき、学部における教育研究の目的を実現するための教員を配置する。
- 国際性や男女比率、年齢構成に留意し、総合的にバランスの取れた教員組織を編制する。
- 学部の人材育成の目的を実現し、社会からの多様なニーズに対応するため、経済理論、応用経済学、社会経済学、地域政策、起業論および関連分野の専門家からなる教員組織を編制する。

2. 教員の人事

- 採用人事、昇格人事においては、「福岡大学経済学部採用候補者の選考についての内規」、「経済学部昇格基準」または「経済学部実務家教員昇格基準」に基づき、研究の業績や教育上の能力について多面的に厳正な審査を行う。

3. 教員の資質向上

- 組織的に広範囲な FD 活動を毎年行うとともに授業方法などの情報交換を積極的に行い、教員の資質向上を図る。
- 経済学部先端経済研究センターを通じた研究支援活動により、教員の研究能力向上を図る。